

—総括表—		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・CPの役割をより多くの人に知ってもらい、子どもから高齢者まで利用しやすい身近な地域の活動拠点となるよう取り組む。 ・高齢化率も高くなっているため、高齢者が活躍できる場や認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。 		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症の人にも優しいまちづくりを目指し、多角的視点から課題抽出する。 (Nカフェの継続、支えあい勉強会、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座、キャラバンメイトエリア勉強会 を開催)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	CPの広報活動 (広報誌の発行、地域での清掃活動)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源の情報集約と情報提供 (AYUMUの更新・活用、地域活動一覧表の更新)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	にしろく検討会の充実 (介護予防に資するグループ交流会、にしろく検討会の周知)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもから高齢者まで一人ひとりの活躍できる場をつくる (ちよこっとボランティア、にしろく測定会、多世代交流、CPまつりでの発表)
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人にも優しいまちづくりを目指し、地域ケア会議、Nカフェやエリアキャラバンメイトとの講座開催なども行い、多くの方に正しい認知症理解への周知活動をしました。今後も勉強会や活動を継続し、多角的視点からの課題抽出に努めます。 ・広報紙の発行回数を増やし、配布地域を拡大することで、自主事業やCP祭り等の新規の参加につながり、多少の成果はありました。今後も継続予定。 ・にしろく検討会については、事務局として関わり、地域の方、専門職、区役所との連携により、自治会町内会にもアプローチ、地域資源の一覧表の作成することができ、健康づくり、介護予防の充実に一歩前進できました。 ・イベントを通して、地域の小中学生や高齢者の方に、着付けやイベントのボランティアとして参加、活躍の機会をつくり、交流を深めることもできました。 		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行回数の増加や地域住民との活動強化などにより、ケアプラザの周知に努めたことを評価します。今後は広域な第六地区を広い視点で捉える一方、より狭い圏域に対しても、細やかな地区情報の収集や分析を行い、その地域に合わせた支援に結び付けてください。 ・自主事業への参加者が少ないのは、坂があるためなのか、またはケアプラザが知られていないからなのか、事業の情報が届いていないのか、それとも事業の内容に関心が低いのか、色々な角度から分析を深めて事業の見直しにも努めてください。 		